

# 鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二三四号

2022.1.28  
責任者  
市川 麻美

## 今年こそは・・・

二〇二二年、希望を持ってスタートを切ったところでしたが、新型コロナウイルスの感染者数激増のため、蔓延防止等重点措置となりました。そのため、学校行事等に少なからず影響が出てしまいました。生徒・保護者の皆様には、『またか・・・』と落胆されているのではないかと存じます。誠に申し訳ございません。

アップル創業者のステイブ・ジョブズ氏が生涯の師と仰いだ禅僧、乙川弘文(新潟県出身)さんは、京都大学大学院卒業後、曹洞宗の大本山・永平寺で修行、二十九歳で渡米し、禅を教えたそうです。ユーモアのセンスもある人だった



ようで、柳田由紀子著『宿無し弘文』に、次のようにあるそうです。ある時、弟子の米国人住職が『人助けはどうするのがベストか』と尋ねたら、弘文さんは『笑わせようことだよ』と答えたという事です。ジョブズさんのユーモアに富んだプレゼンはこの教えをくんだものかもしれません。

また、『掃き清めること』や『自分を空っぽにして世界とつながること』もきつと学んだのではないかと、ということでは

厳しい状況だからこそユーモアは人の心を和ませてくれるものです。私たちも前を向いて、できることを考えて進んでいきましょう。

どうぞ今年もよろしくお願います。いつも笑顔と『ユーモア』を忘れずに・・・です。

## 三学期始業式 生徒会長あいさつ

新年が明け、今日から三学期がスタートします。三学期は、今年度で成長したところを振り返り、次の学年への準備を行う学期です。目標を定め、その目標に向けて努力をすることが大切です。人との距離やマスク・手洗いや感染対策をしながら、充実した三学期になるように全校生徒で協力していきましょう。

二年



## 幼小中連携のまど Vol.9 英語科

1月28日に保護者対象の新生説明会を行います。この説明会に合わせて、まなづる小6年生を招き、授業体験や部活動見学をしてもらっています。「ウィンタースクール」として継続してきたのですが、残念ながら今年は開催できません。

中学校の雰囲気を肌で感じる事ができ、2か月後、安心して入学してもらうための大切な機会であると考えています。今回、小6のみなさんに英語の授業をすることは叶わなかったのですが、私自身は、まなづる小に行った際、とても落ち着きのある6年生の姿を目にしています。3月に小学校で英語の授業に行けたらと考えています。また会う日を楽しみにしています。



## アンケートについて

「教育活動等についてのアンケート」へのご協力ありがとうございました。集計結果は次のとおりです。

前年度と比較すると、全体的には大きな評価の変動はありませんでした。

多くの項目で高評価を得られているものの、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」という評価をいただいた「足りない部分」を考え続け、改善に努めてまいります。

また、「項目3」は、例年あまり高い評価を得られていません。今後も新型コロナウイルス感染症対策により自宅学習が増える可能性もあるなか、家庭学習を充実させる工夫を試行錯誤しているところです。

家庭学習については、まず学校での課題提示等のあり方が問われるところですが、ぜひ、ご家庭におかれましても、子どもたちを励ますなど、お力添えを願います。

重点項目	評価項目	評価A	B	C	D
学習について	1 学校は、「できる、分かる、楽しい」授業を行うために、プリントなどの教材の工夫や、グループ学習などの学習形態の工夫を取り入れ、学習する意欲や考える力を育てていると思いますか。	29人 35.8%	43人 53.1%	7人 8.6%	2人 2.5%
	2 学校は、TT(複数教員での授業)や少人数授業を行い、習熟度や個に応じた指導の工夫等に取り組んでいると思いますか。	31人 38.8%	38人 47.5%	10人 12.5%	1人 1.3%
	3 学校は、家庭学習を充実させるための指導を行っていると思いますか。	20人 24.7%	36人 44.4%	23人 28.4%	2人 2.5%
生活について	4 学校は、職員が一丸となって生徒指導に取り組み、特に問題行動に対しては素早く対処し、解決を図ろうとしていると思いますか。	28人 33.3%	44人 52.4%	10人 11.9%	2人 2.4%
	5 真鶴中の生徒は、明るいあいさつができたり、社会や学校のきまりやルールを守ったりするなど、社会的生活習慣の確立をめざそうとしていると思いますか。	33人 38.4%	42人 48.8%	10人 11.6%	1人 1.2%
	6 学校は、より良い人間関係づくりのために情報を集め実態を把握し、教育相談や個別指導、望ましい集団づくり等を推進していると思いますか。	31人 37.8%	38人 46.3%	11人 13.4%	2人 2.4%
	7 学校は、訪問相談員や心の相談員、スクールカウンセラーとの連携を進め、不登校の生徒や悩みを持つ生徒の相談にに取り組んでいると思いますか。	29人 36.7%	40人 50.6%	7人 8.9%	3人 3.8%
健康・安全について	8 学校は、安全で充実した教育活動を保障するために、施設や設備面での改善を図り、また学校防災をめざした取り組みを行っていると思いますか。	29人 35.8%	40人 49.4%	11人 13.6%	1人 1.2%
	9 学校は、規則正しい生活を送る指導をはじめとする、健康教育を推進し、望ましい生活習慣の定着をめざした健康管理を進めていると思いますか。	33人 39.3%	40人 47.6%	9人 10.7%	2人 2.4%
幼(保)小中一貫教育について	10 学校が幼稚園・小学校との連携を進め、小学生の中学校授業体験や、中学校教員による小学校への授業協力等、12か年を見通した教科指導や生徒指導等の研究を進めていることを知っていますか。	29人 35.4%	40人 48.8%	11人 13.4%	2人 2.4%
地域との協働について	11 学校は、保護者・地域の人材を活用し、真鶴の特色を生かした学習を行っていると思いますか。	29人 34.5%	45人 53.6%	8人 9.5%	2人 2.4%
	12 学校は、「学級だより」「学年通信」「進路だより(3年)」「学校だより」や学校ホームページなどを通して、学校生活の様子をお知らせしたり、学校公開を行ったりなどして、「開かれた学校づくり」を進めていると思いますか。	44人 50.6%	36人 41.4%	7人 8.0%	0人 0.0%